



謹 賀 新 年

明けましておめでとうございます。

昨年より執行委員長に就任し、皆さまにご協力をいただき2期目を迎えることとなりました。引き続き、よろしくお願い致します。

今回の2022年の賃金確定闘争の主な成果として、子の看護休暇の対象を現在小学校6年生であったものを、令和5年度から中学校3年生まで拡大するという回答を得ることができました。今だにコロナウイルス感染症の影響により少しでも風邪症状等があると通学を控えなければいけない実態もあることから、中学生においても看護の必要性があることを訴えてきた結果のように感じます。

働き方改革からウィズコロナへと時代は移り変わり、急速にライフスタイルが思いもよらない方向へ大きく変わろうとしています。それに伴い、私たちが求める職場環境や労働条件も同様に変化してきています。身の回りの職場環境はどう

でしょうか？昔はよかったけど、今は合わなくて困っていることはないでしょうか？そういう違和感を少しでも解消し、時代の要請に応じた職場環境づくりが実現できるよう引き続き継続要求となっている事項についても粘り強く交渉してまいります。ひいては、処遇改善を重ね、太田市で働くことの意義・魅力も高めていければと思います。

また、組合活動においても感染対策が不十分となり得る団体によるバスツアー等は自粛せざるを得ない状況が続いています。そんな中、家族や親しい友人とともに少人数規模で多様な活動が支援できるよう東京ディズニーランド割引助成や群馬クレインサンダーズ観戦助成等をスタートさせています。ぜひ、この機会にご活用いただき、より有意義な時間を過ごしていただけることを願っております。

皆さまにとって実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

執行委員長 小林 克敏

12.16 第2回拡大闘争委員会・第1回単組代表者会議について



▲あいさつを行う佐藤自治労群馬県本部執行委員長 ▲報告を行う小林執行委員長



▲最後は団結ガンバローで締めくくられた

2022年12月16日、「前橋問屋センター」(前橋市問屋町2丁目2)にて、自治労群馬県本部主催の「第2回拡大闘争委員会・第1回単組代表者会議」が行われた。太田市職労からは小林委員長ほか1名、県本部執行委員として山本特別執行委員が出席した。同委員会は県本部からの協議・報告事項について単組間で承認の決議を行うほか、本秋の賃金確定闘争における各単組の状況や動向、当面の取り組みについて単組間で報告することを目的として行われるものである。

県本部からの協議事項については賛成多数で承認された。2022賃金確定闘争の状況報告については、本夏の人事院勧告にて3年ぶりの賃金引き上げが勧告されたことを受けて多くの単組で給与引き上げの見通しが期待された一方、今後は高齢層職員を中心とした給与水準の引き下げが懸念される動向への注視を要することが触れられた。また、各単組の取り組み状況では、県内の全単組が同一日に確定闘争の要求実現

にむけて組合員同士の団結力を示すために実施する「統一行動」について、コロナ禍を理由に各単組の行動実績が少ないことに懸念を示した。県本部は全組合員が当事者として主体的に取り組む必要があることを強調しつつ、今後は各単組が意欲的に活動することの重要性を説いた。

単組報告の場では各単組の賃金確定闘争やそれ以外の活動実績に関する報告が行われた。太田市職労は先の賃金確定闘争に関する状況を報告したほか、コロナ禍で活動が制限される文体事業について、現在実施中のディズニーコーポレートプログラム利用券の配布事業や群馬クレインサンダーズ観戦チケット助成事業など、「各個人が個人の判断で選べる文体事業」への転換を取り組みとして行い、好評を得ていることを報告した。

会の最後には佐藤委員長による団結ガンバローで意思統一をはかり、集会を終了した。